

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテッジビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com




9月23~25日・アートピア
ホールで山川豊らと「護り屋」

「名古屋おもてなし武將隊」の二代目・織田信長として精力的に活動してきた佐野俊輔が、親交の深い歌手・山川豊(三重県鳥羽市出身)と意気



①主演の佐野俊輔 ②「護り屋」の(左から)宮田せいじ、佐野、演出を兼ねる渡辺一正

重県鳥羽市出身)と意気
投入。9月23~25日(5
公演)アートピアホール
で舞台版「護り屋」(まも
りや)の脚本、演出・渡辺
一正)を上演する。



命を懸けて護衛する3人
のボディガードを描いた
ハードボイルド。今年
5月に全国5都市で上映
された映画「護り屋」願
い(総指揮・佐野俊輔、
脚本・監督・渡辺一正)の
舞台バージョンである。

「名古屋おもてなし武將隊」の二代目・織田信長として精力的に活動してきた佐野俊輔が、親交の深い歌手・山川豊(三重県鳥羽市出身)と意気投入。9月23~25日(5公演)アートピアホールで舞台版「護り屋」(まもりや)の脚本、演出・渡辺一正)を上演する。

二代目・信長 佐野俊輔、全国制覇の夢実現へ

佐野は2001年、中日劇場で上演された「友情」に主要キャストとして出演。以来、舟木一夫、コロケ、山川豊らの座長公演に参加。劇団さまぐれ、劇団Ginie Baobabのメンバーとして舞台人として実績を重ねた。現在はプロダクション「Kids heart」(名古屋市区)を主宰している。

尺八の野村峰山さん人間国宝に 東海地区芸能部門では初の認定



人間国宝・野村峰山(都山流尺八竹琳軒大師範)

名古屋市在住の尺八奏者・野村峰山(65歳)が、重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)に認定された。1954年の制度開始以来、東海地区での芸能部門認定は初。尺八奏者としては6人目。ことし峰山と「同時に認定を受けたのは5人で、現存する人間国宝は110(男93、女17)人になる。

「都山流尺八竹琳軒(ちくりんげん)大師範」が峰山の肩書。平たく言えば、「都山流最高位の奏者」である。生まれは三重県川越町。師匠は都山流の名手・山本邦山(1937~2014年、人間国宝)。高校3年の時「第一回都山流尺八本曲コンクール全国大会」で金賞を受賞し、プロ奏者を志望。現在は「峰山会」を主宰、全国の奏者が流派を超えて参加する「日本尺八演奏家ネットワーク」の代表理事を務めている。

DRESS SHOP/アンクレール/Enclair
〒465-0025 名古屋市中区上社1-506-1F
☎(052)739-6155 OPEN 11:00-19:00
定休日:月曜 *水曜日のみ営業時間は11:00-17:00です



6年)の残した本曲(尺八のために書かれた曲)28作を五線譜に書き直し製本化。その全曲を3年がかり6回にわたり東京・紀尾井ホールで公演した「初代中尾都山の軌跡」。それが評価されての大臣賞受賞だった。

163 川本マサフミ
ロック、ポップス、パンクとジャンルにこだわらず歌う川本マサフミ。若くして音楽を志し、中学卒業後にバンドを結成。音楽を知るために単身渡米した時期も。2005年から愛知に在住し、さまざまなバンド

「尺八のための縦書き楽譜を五線譜にすること」で、世界中の音楽家に演奏してもらおうことが出来る。都山の曲はもっと評価されるべきだと思いま



シンガーでギタリストの川本マサフミ

多彩な表現力で「愛と平和」を歌う
シャンソンの扉
「私が認定されたのは、地元の名古屋ではなく、東京で公演を行ったこと。東京藝大で講師を務めたことも無関係ではないでしょう。残念なことですが、地域の活動が、

共演者へのリスペクトが素直に伝わり、心地よいセッションが生まれる。最後は、必死に練習したという「シャンゼリゼ」をフランス語で歌ってのけた。あらゆるジャンルの魅力的な音楽が集まる場になりたい」というエールのこれからの相応しい夜だった。

7月のエルムではギターの名手・遠藤マサアキと共演。美しい声で「Children」や尾崎豊を歌い上げたかと思えば、「てるてる坊主」「昭和と平成」などメッセージを込めたオリジナル曲を観客に問う。歌に合わせて時につぶれるような声で歌ったり、リリカルな声で揺さぶったりと表現は驚くほど多様だ。

フィレンツァ・チェドリンズ オンラインクラシックヴォイスコンクール2022
ソプラノ セミファイナリストコンサート

重田 栞 高橋宏典
Shiori Shigetani Kazuki Takahashi

デュオ リサイタル
世界に羽ばたく若き歌声、HITOMIホールで

2022 11.11 Fri 19:00開演 [18:30開場]
チケット【全自由席】(休憩なし、約80分ステージ)
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

一般	前売り 3,000円 当日 3,500円	高校生以下	前売り・当日ともに 2,000円
----	-------------------------	-------	------------------

ナビゲーター 山本敦子
ピアノ 平野裕加里

※前売りの時点でチケットが売り切れしてしまう場合、当日券の販売はありませんのでご注意ください。
※状況によりお客様の安全なご参加が難しいと判断した場合、直前の公演中止等の可能性があります。
最新の情報は、メコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエイション部のウェブサイトでご確認ください。

公演の詳細は 電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)
HITOMIホール 名古屋市中区葵三丁目21番19号 メコンANNEX 5F



ジャンル多彩に「ゆかりバレエ」公演

9月19日 ビレツジホールで開催

多彩な舞踊ジャンルで活躍する神原ゆかりが、9月19日(午後6時)市民会館ビレツジホールで「ゆかりバレエ公演」を行う。クラシックバレエ、コンテンポラリー、現代舞踊、創作バレエなど意欲的なプログラムが並ぶ。

第1部はクラシックバレエ「オーロラの結婚」(ハイライト版)。第2部は民謡集団ピュアの三味線合奏による「コンテンポラリー6作品」(振付・神原ゆかり)。

第3部はピアノの生演奏(稲垣宏樹)で構成する「月の光」亜麻色の髪の乙女(振付・神原ゆかり)、モダンダンス作品



主宰の神原ゆかり

「ボレロ」(Delios suite) バレエ組曲シルビアより(振付・牧村直紀)。出演は神原ゆかり、牧村直紀(谷桃子バレエ団) 齊藤耀(同)、檜山和久(同)、近江奈央(ドイツ・アイゼナハ州立劇場)、ダビデ・デリア(ドイツ・フォアポンメルン州立劇場)、南野高廣ほか。ボレロを踊るモダンダンサー

全自由席30000円、税込052(733)8809。

舞台批評

名古屋アトロ

約100人のメンバーが結集し、年一回、ドラマチックなイタリアオペラをコンサート形式で上演する「名古屋アトロ」管弦楽団/合唱団(団長・上井隆志)。第4回公演となる今年



オペラの門戸を広げた実績を証明

「道化師」のワンシーン。第1回「トゥーランドット」(2018年)から見てもらっているが、団員はもろろん、常任指揮者の佐藤正浩、客演するソリストの情熱と真剣みに胸を打たれる。出来の良し悪しではなく、年一回に賭ける団員の潔さに感動するのである。ところで今回は「初めてアトロ公演に来た」人や「オペラは初めて」の人が多かったようだ。休憩時間

期待上回った日本の歌、の歌唱



歌を生きる(7月23日・HITOMIホール)を開き、幅広い歌と語りを楽しませた。スマホのゲーム感覚で二つの部屋を訪れるという、自分で書いた台本があった。「心の部屋」は「浜辺の歌」星めぐりのうた「霧と話し」など日本の唱歌。次の「女の部屋」は「ある晴れた日に」シエルブルーの雨傘など、オペラとミュージカルを交えた外国曲。

被爆者の無念と絶望を大曲に込め



「オフトリオ 鳥の歌」二日続けて、同じ作曲家の作品を、同じ会場で聴いた。名古屋二期会の「月の影」源氏物語(7月30日・しらかわホール)と、翌日の名古屋青少年合唱団「オフトリオ 鳥の歌」いずれも尾上和彦の作曲作品である。「月の影」はオペラとして制作され、2009年に京都で初演。名古屋二期会では20年に上演を予定していた。後半は、ギター・竹内永

倉知可英&山内敦子 9月23日 千種文化でコラボ



山内敦子と倉知可英

フランス現代舞踊の旗手、シャンシクロード・ガロッタが主宰するプロ・カンパニーのメンバーとして実績を積んだダンサー倉知可英。パリ・エコールノルマル音楽院を修了し、第4回ノヴィ国際音楽コンクール、第5回チェコ音楽コンクールで第一位を獲得したピアノリスト山内敦子。

フランスで研さんを積んだ二人が、9月23日(午後2時30分と午後6時)の2回、千種文化小劇場でピアノとダンスのコラボレーション「白昼夢への誘い」秘密の庭を行う。二人が敬愛するフランスの作曲家クロード・ドビュッシュー(1862~1918年)とエリック・サティ(1866~1925年)の音楽を、そ

れぞれの感性で描出し、斬新な芸術空間を創造する試みた。倉知と山内の二人きりの公演は初めてだが、14人の女性アーティストに斬新な感性で描出し、斬新な芸術空間を創造する試みた。倉知と山内の二人きりの公演は初めてだが、14人の女性アーティストに

山内も「可英さんは音に対する感覚がすごい。私の演奏を何倍にも拡散してくれそうです。私も一緒に踊り出すかも(笑い)」と熱演を約束する。曲目はドビュッシューとサティ作品のほか、現代電子音楽の大河内俊則に新曲を依頼。時代と地域を隔てる音楽の魅力と不思議を追う。全自由席4000円、税込052(841)5072。

レオタードのご購入 送料 無料

1枚からでも大丈夫

Danskate

住所: 〒466-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目11-23 (大橋商店街の上です)

電話番号: 052-265-7900

https://danskate.com

宮入公子リサイタル2022

2022 10/13 open 18:00 start 18:30 ticket 6,000円(前売/全自由席)

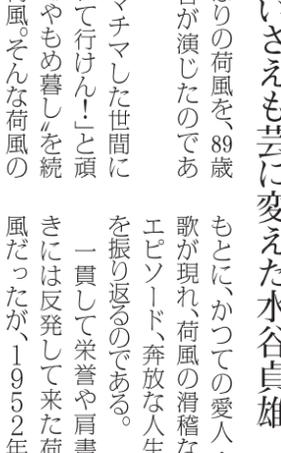
青少年文化センター(アートピア) 名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク内 チケット購入は、エルム(Tel. 052-733-0085) または TIGET(右QRコード)からご購入いただけます。

ツイキャスプレミア配信 チケット 3,000yen 当日のコンサート動画を視聴いただけます。検索エンジンから「ツイキャス」→「宮入公子」と検索、または右のQRコードからご購入下さい。コンサート開始時間から視聴できます。



少々の過ぎの感もあつたが、情感があふれ出たというところだろう。首程に狂いがなかったのは幸いだった。合奏も趣向を凝らし「カヴァレリア」では村人「道化師」では観客を

老いさえも芸に変えた水谷貞雄



水谷貞雄は、89歳の水谷が演じたのである。荷風を演じたのは大ベテランの水谷貞雄(1933年生まれ)。瘦身でダンディーな風体は、写真で見ると荷風によく似ている。約2時間、出

ずっぱりの荷風を、89歳の水谷が演じたのである。荷風を演じたのは大ベテランの水谷貞雄(1933年生まれ)。瘦身でダンディーな風体は、写真で見ると荷風によく似ている。約2時間、出

和、ジプシーヴァイオリン古館由佳子を東京から招いてのコンサート。「チャルダッシュ」で、いきなりハンガリーのムード。プラームス「ハンガリー舞曲第5番」に歌詞を付け、オペレッタ曲では振り交えて、エンターテイナリーぶりを発揮した。

尾上の旋律は斬新で高尚だが、大胆な高低の変化があり、歌手にとっては難曲。美しい伴奏と調和し、人生の儚さや侘しさを描き上げる。光源氏を演じた井原義則(テノール)の名唱が際立った。「オフトリオ 鳥の歌」は広島原爆被爆者たちの無念と絶望を題材にした全8章の大曲。通常オフトリオは合唱とオーケストラによって演奏されるが、今回は3人のソリストと5組の合唱団、オケではなくピアノ伴奏で上演された。写真。

◆推奨公演◆

◆こぼれ会えくせるしお朗読公演「ふたりもよぶく菊池寛・二題」10月8日(午後1時30分) HITOMIホール。菊



竹元まき子

竹元真一郎

池の名作「恩讐の彼方に」を竹元真一郎・藤十郎の恋を竹元まき子が朗読。前者はギター、後者は尺八の生演奏が付く。全自由席4000円(当日4500円)。TEL090(991)04288。

ステイヴ・ライヒ

国際芸術祭「あいち2022」は、開幕第一週から優れた舞台芸術が相次いだ。「ステイヴ・ライヒ」スペシャル・コンサート(7月30、31日・芸術創造センター)は、60年代から音楽界のみならずアートにも大きな影響を与え続ける作曲家ライヒが自ら監修した5作品を、中川賢一、若林かをり、山田岳ら選りすぐりの日本の音楽家たちが演奏した。「ピアノ」

フェイズ」はテープ再生のピアノ演奏と生のピアノが、ずれたり同期したりを繰り返す「フェイズ・シフティング」の技法を象徴する作品。即興性のない緻密な演奏なのに、楽譜ではなくテープの音に没頭して弾くため、パフォーマンスの魅力が際立つ。「ヴァーモント」



(撮影・今井隆之 ©国際芸術祭「あいち」組織委員会)

ガラシャの一途な殉教を活写



ガラシャの出演光代と夫・忠(撮影・井原写真)

カウチポイント」はフルートなどのテープ再生と生演奏。10本のギターの録音テープに日本目としてギタリストが加わる「エレキトリック・カウチポイント」でも、生パートを司る演奏者の研ぎ澄まされた音の緩急に、生命力が感じられた。六重奏のテープ音源と生演奏による「ダブル・セクステッド」は、対になった楽器の運動が生む多彩な音色が会場を圧倒した。(竹本)

「ディアラント・トリン」は、戦争を語るテープの音、その旋律を模倣した3つの演奏の録音に、生の弦楽四重奏が加わる。音楽がドキュメンタリーを体感させる珠玉の芸術。(竹本)

侍社会の頂点に立つ豊臣秀吉の魔手や相思相愛の夫・細川忠興の思いにも揺らがない珠子は、愛や救いが時代を委ねると信じ、祈る。それは強さとか聡明とかよりも、とにかくシンプルでピュアだった。出田の歌唱は歌詞がしっかりと伝わり、観客を物語に引き込んだ。傑出した珠子の姿に、驚き、慕う、安田健や一海靖晃、加川文字の演技も印象的。ピアノ、電子オルガン、チェロの演奏は、躍動感

のある音楽を生み出し続けることに成功。観客は歌で綴る戦国絵巻を堪能した。(竹本)

間奏曲

「声。テノールは多いが、バリトンは少なく、名古屋を中心に活動している人は、ほんの数人しかいない。オペラでもバリトンが主役を演じているものは少ない。悪役(トスカ)のスカルピアなどでも興味深い人間で、演技力が必要だが、やりがいがある。ほどよい中間の音域で、聴きやすいのもいい。(上原宏)

作品に溢れる情感と遊び心



「空想という名の列車に乗って」

観客を魅了した。プログラムの①コン

全国の各地のコンクール入選・入賞作(8作品)構成、演出はすべて木原創、友里、②和太鼓合奏「響き」、③舞踊劇「Jesus Christ」の3部構成。①の最新作「ダンサー」そして作品のクオリティだ。

舞台批評

10数年前、初めて同様のクオリティだ。まず目を見張ったのは、幕開けに「ghost

亡き者からの愛の歌」を踊った野澤美優の長い手足と姿の美しさ。白い衣装で、叶わぬ愛を体現する様に、死者の儚さと無念がふれた。

た。電車の乗客7人が、目的地までの東の間に見た美しい幻想世界が展開される。閉鎖された車内との対比も鮮明。作者の遊び心が感じられた。

の演技が、センターの主役ダンサーに一步も引けを取らないことが、かやの木の強み。全作を通して、鮮やかに作品をスケールアップさせた曽我裕幸の照明も巧みだった。(ウエノ)

圧巻のりゅうとびあ、の人と技巧



ノイズム&鼓童の「鬼」(撮影・Naoshi Hatori)

て聞いたことがある。「静止は踊るより難しい。コッパは無になること」とか。

まず「お菊の結婚」では、ダンサーの巧みな人形振りに魅了された。一人の異国人に振り回される日本人たちの姿を滑稽に描いたダンス劇。私

ノイズム&鼓童

知公演(7月23日・芸術劇場大ホール)を見て、ダンスの静止の美しさに見入った。

「お菊さん」が原形で、オペラにもなっているように。鼓童との「鬼」は、舞台後方に設けられた鉄骨の櫓(やぐら)に8人の奏者が居並び、前面で踊るダンサーを見下ろす形体。「ドンドコ、ドンドコ」の勇ましい演奏ではなく、極限まで神経を研ぎ澄ませたシャープでスリリング、時には幽霊が出るような、おどろおどろしい作調も。

ダンスの巧みさを増幅させ、非日常空間を創造したのがりゅうとびあスタッフによる繊細で大胆な照明デザイン。「お菊の結婚」では7枚の白い襖(ふすま)を自在に彩り、「鬼」では入り組んだ舞台装置の力所だけを、まるで絵に書いたように赤く染め上げた。収穫の多い公演だった。(上)

胸に迫る死者へのオマージュ



「大切な日々」ワンシーン

佐藤小夜子DL

登場した佐藤は、黄泉の世界へ旅立とうとする母を呼び止めるような、悲しみと失意のダンスを繰り広げた。一挙手一投足に情感があふれ出た。

LABORATORYの25周年記念公演(8月11日・東文化小劇場)を見た。プログラムによれば、佐藤は3年前「考えられない事故で母を失い、しばらくは怒りと失望の日を送った」という。メインプログラム「Precious days」大切な日々」は、亡くなった母へのオマージュだと私は解釈した。

俳優の中島由紀子(客演)が、味わいあるパフォーマンスでドラマをサポート。BGMのラフマニノフも良い効果をもたらした。残念だったのは、名優「古井慎也」が欠場したことだ。(S)

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します。関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。お申し込みお問い合わせは(株)マネージメント・5095。郵便振替口座00880161206130。

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者のみ)。会員

- 青山 皆江 小野由加利 玉田 弘子
秋田 昌子 加藤 静子 つみあつき
浅井 亮子 金澤 志保 手塚 淑子
荒川 洋子 蟹江 尾八 戸田美江子
飯田みち代 北村 哲也 中川 幸作
出田 光代 黒沢 優子 仲条 優理
伊藤 敬 佐藤 典子 名鶴ひとみ
伊藤 直樹 佐藤美智子 西川 長秀
稲垣 舞比 佐野 和美 野々山保治
斎 千龍 澤脇 達晴 野村 祐子
今村 早如 清水 房子 服部 節子
植村麻衣子 白樺 八重 花柳 馨優
内田 寿菊 すきとほる 林 雅仁
内田 寿千代 杉江 瑞美 福井 啓子
内田 寿晴 鈴木 幾子 淵本晴都子
内田 寿哉 鈴木久美子 松波千津子
内田 幸 鈴木 文雄 松本 道子
内田のり子 須山 仁美 見波 紀子
内田のり美 角田真優美 宮西 圭子
大寺 資二 高倉 麻耶 山口 雅子
岡田 一男 高橋はじめ 吉田 尚弘
岡田 純奈 武市 孝三 よしみゆうこ
岡崎 保彦 竹元まき子 渡部 千枝
小倉ひろこ 田淵友佳理 他

和光写真/楠テス・大阪/麟三光/Hide Dance Lab./南ビデオ映社/松岡侑子バレエ団
NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト・カンパニー
特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子/Office KAN/ミュージカルアカデミーKAO
フィルハーモニー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村奈乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカルアカデミー
Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑞美

「ナゴヤ劇場」30周年を記念して

KAЕKO ISHIKAWA

石川 嘉栄子 ピアノリサイタル

2022年10.1

18:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

石田 雅之

石田 雅之

2022年10月9日(日)

愛知県芸術劇場コンサートホール

松本和将

世継り音楽遺産

ファンタジー・リスト編

悪魔の調べ

「建築と音楽」(8月2日・HITOMIホール)のタイトルに興味を持った。シリーズ2回目#17



バロック期の芸術を分かりやすく

世紀イタリヤ編は、バロック期の芸術を楽しく学べた。建築の話は、愛知県合唱連盟理事長でもある河辺泰宏(愛知淑徳大学教授)。バロック時代の建築は大聖堂や教会が中心。ローマ、フィレンツェ、ヴェネツィアとたどり、映像を使って建物と絵画や彫刻も紹介して



歴代の名作を多彩なテクニックで
ピアノ・土屋宗太
が、名古屋演奏家育成塾で名古屋市中文化振興事業団賞を受賞した記念のリサイタル(7月9日・熱田文化小劇場)を開いた。

OKA SAKUYO
MEZZO SOPRANO
RECITAL vol.4

坂本 咲子

2022年10.10

愛知県芸術劇場コンサートホール

マチュー・デュフォー

2022年10.11

愛知県芸術劇場コンサートホール

木崎 美和

ソプラノリサイタル

2022年10.14

愛知県芸術劇場コンサートホール

アートキャラバン2022
セントラル愛知交響楽団
名曲コンサート

「カルメン」第1・第2前奏曲
ムソルグス「組曲『展覧会の絵』」
ポロロ

2022年10.15

高山市民文化会館

岡崎美奈江

2022年10.22

愛知県芸術劇場コンサートホール

清水陽介 & 進藤美優

「幸せな地球の物語」

2022年10.25

愛知県芸術劇場コンサートホール

大岡特殊編 名演奏家シリーズ 2022

亀井 聖矢

ピアノ・リサイタル

2022年10.27

愛知県芸術劇場コンサートホール

Musik Engel

合唱団

2022年10.30

三井住友海上しらかわホール

平山晶子 with シェン・ミツ・カルラ

2022年10.30

愛知県芸術劇場コンサートホール

「ピアノ作品の2000年を巡って」という大きなテーマ。バッハ「パルティータ第一番」からモーツァルト「ピアノソナタ第18番」、ワーグナー「リスト編曲『イゾルデの愛の死』」バーバー「ピ

アノソナタなど、ピアノ作品の長い歴史を順にたどる構成だ。バッハはシンプルで軽快に響かせる。ワーグナー「リスト」は重厚に、バーバーは多彩なリズムと音色を駆使。アンコールのラヴェル「水の戯れ」、ショパン「英雄ポロネーズ」まで、多彩な曲の特性をよく表現した。少し盛り込みすぎの気もしたが、挑戦する意欲は素晴らしい。合っていた。いずれも華やかで豊かな音色が魅力。若さが弾(は)じけるが、勢いで走ることはない。弱冠二十歳にして、自分のスタイルを持っている。ショパンとシューマンの小品は美しい弱音を響かせ、ベートーヴェン「チェロとピアノのためのソナタ」第3番は確かな安定感があった。メインのグリーグ「チェロソナタ」は、躍動感があり、北欧の海や森を連想させる。力感あふれる演奏でその魅力を伝えた。

息もピッタリ、発揮された若い才能

二人とも2002年の生まれ。岐阜県出身の清水はハングリーに、愛知県出身の進藤はロシアへ10代で留学。共感するものがあつたのか、初共演だが息がよく

共に響き合う、京響

京響

広上淳一 指揮

京都市交響楽団

2022年10/2

愛知県芸術劇場コンサートホール

PROGRAM

ロッシニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲
ショパン: ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 作品21
R.シュトラウス: 交響詩「ドン・ファン」 作品20
R.シュトラウス: 交響詩「死と変容」 作品24

ピアニスト アレクサンドラ・ドヴガナ

2022年10.2

愛知県芸術劇場コンサートホール

魂の成長、そして浄化へ 現代最高のヴァイオリニストが奏する至高のバッハ!

レオニダス・カヴァコス

J.S.バッハ
無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

2022年10.6

愛知県芸術劇場コンサートホール

SEKISUI HEIM presents

クラシック界に衝撃と旋風を巻き起こす新進気鋭の天才指揮者 クラウス・マケラ。25歳の若さで音楽監督に就任した 待望の来日! 名門パリ管と勝負曲を携えて 世界中で人気抜群のピアニスト、アリス=紗良・オットを迎えての瑞々しいラヴェルも必聴!

クラウス・マケラ指揮 パリ管弦楽団

アリス=紗良・オット(ピアノ) 照明演出: 佐藤 啓

ドビュッシー: 交響詩《海》 パリ管の魅力全開の最強プログラム!
ラヴェル: ピアノ協奏曲ト長調 アリス=紗良・オット(ピアノ)
ストラヴィンスキー: 火の鳥(全曲)

2022年10.20

愛知県芸術劇場コンサートホール

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

クラシック名古屋

052-678-5310

金山総合駅 南口より徒歩3分

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

アイ・チケット 0570-00-5310

(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!! スマホチケット[電子チケット]導入。(利用できない公演もあります) カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。